

## 指定管理評価表(尼崎市立弥生ヶ丘斎場)

平成31年3月31日現在

<b>施設概要</b>	尼崎市立弥生ヶ丘斎場(尼崎市弥生ヶ丘町1-1) 開館時間:9:00~18:30 休場日:1月1日及び友引日 施設設置目的:火葬という故人とのお別れを厳粛な中で行えるよう人生の終焉の場にふさわしい荘厳さを備えた施設。 事業内容:火葬の予約から火葬、収骨とそれに伴う業務を行う。			
<b>指定管理者の名称</b>	公益財団法人 尼崎環境財団			
<b>指定期間</b>	平成26年4月1日~平成31年3月31日			
<b>業務概要</b>	火葬運転業務、斎場応接業務、斎場事務業務 斎場施設の維持管理業務			
<b>利用状況等</b>	項目名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	火葬件数	4,698 人	4,734 人	4,444 人
	稼働率	84.79 %	85.9 %	82.3 %
<b>所管課・所管課長名</b>	健康福祉局保健部生活衛生課 西村邦子			
<b>評価対象期間</b>	平成30年4月1日~平成31年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 サービスの質の維持・向上</b>		<b>B</b>	火葬件数が増加する傾向にあるが、安定的に火葬業務を遂行している。 市と協議し、休場日の試験開場日数を増やす等の取組みを行っている。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
<b>2 適正な施設の管理</b>		<b>A</b>	災害による不測の事態が起こった際に火葬に支障が出ないよう迅速かつ的確に対応を行っている。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
<b>3 収支・経費節減</b>		<b>C</b>	今後さらに費用の透明化を図ることとする。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
<b>4 指定管理者の経営状況等</b>		<b>B</b>	適正な会計手続きがなされている。経営状況も概ね良好である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
<b>5 その他</b>		<b>B</b>	文書等は、適切に管理されている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・火葬受付、火葬業務の実施 ・各設備(火葬炉設備、空調設備等)の保守点検の実施	火葬業務を適切に行い、安定的に施設の運営を行っている。 また、保守点検や施設の修繕工事等を計画的に実施している。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
<b>B</b>	災害による緊急対応では火葬業務に支障をきたさないよう迅速に対応し、適切に斎場施設の管理運営を行っていた。 今後も、市が実施する火葬炉設備の工事が見込まれるため、市や工事業者と連携し、葬儀業者等の施設利用者への周知を確実に行い、混乱が起きないように運営を行う。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。